

平成28年度 日本歯科技工学会 北海道・東北支部学術大会開催案内

(日本歯科技工士会生涯研修【基本】認定予定)

紅葉の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、日本歯科技工学会北海道・東北支部の学術大会が、初めて秋田で開催されます。

日技の基本研修にも認定されますので、奮ってご出席ください！

記

1. 日 時 平成28年11月13日（日） 午前10時～午後3時30分

2. 会 場 秋田大学医学系研究棟 第2講義室

〒010-8543 秋田市本道1-1-1 TEL 018-834-1111

3. 講 師 1) 福田 雅幸 先生【秋田大学医学部病院 教授】

テーマ 『医学部附属病院口腔外科における歯科技工室とのコラボレーション』

2) 加藤 武彦 先生【歯科医師】

『100歳高齢者時代に噛める義歯を作るために～デンチャースペース義歯への道～』

3) 菅野 雅人 先生【歯科技工士】

『多数歯齲蝕におけるラボサイドアプローチ』

4. 日 程 10:00～ 開会式

10:15～11:45 福田先生講演

11:50～12:20 菅野先生講演

12:20～13:30 昼休み

13:30～15:30 加藤先生講演

15:30～ 閉会式

生研単位 : 5単位

定 員 : 50名

5. 受講料 1) 技工学会会員 3,000円 2) 技工士会、歯科医師会、衛生士会会員 3,000円

3) 非会員 5,000円 4) 学生登録会員 無料

※お弁当を注文する方は、別途 1,000円がかかります

6. 申込み 11月7日（月）までに 県技事務局まで

問合せ この用紙を FAX するか、下記内容を電話またはメールでお伝えください。

〒019-2411 秋田県大仙市協和境字境 2 6 TEL・FAX 018-892-2447

E-mail akisigi@ceres.ocn.ne.jp (件名に「技工士会会員」と明記願います)

日本歯科技工学会 北海道・東北支部 学術大会に 参加します

ご氏名

ご職業

勤務先

ご住所

電話番号

当日お弁当を ・希望する ・希望しない

(どちらかに○をしてください。希望する方は別途 1,000円申し受けます)

抄 録

福田 雅幸 先生【秋田大学医学部病院教授・秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科部長】
テーマ：『医学部附属病院口腔外科における歯科技工室とのコラボレーション』

当科は、秋田県内で唯一の日本口腔外科学会認定の研修施設であり、口腔外科疾患の全県の三次医療を担っている。したがって、診療の対象は「生後から終末期医まで」であり、疾患では「唇顎口蓋裂から口腔顎顔面領域の悪性腫瘍まで」までと多彩である。それに伴い、歯科技工室では「ホッツ床から悪性腫瘍の手術に必要な3Dシミュレーションまで」を担っている。

医学部附属病院口腔外科が扱う疾患は、歯学部附属病院口腔外科のそれに比べると整然としている。すなわち、患者の死亡事故が相次いだ某大学は例外として、院内では各診療科が扱う疾患が重複しないように整理されている。当科も、診療域が重なる形成外科や耳鼻咽喉科と過去に調整が行われ、現在に至る。しかし、いうまでもなく（歯科）技工を扱う部門は一病院内に1つしかなく、競合する部門がないが故に、口腔外科外来を窓口に、耳鼻咽喉科、精神科、形成外科、泌尿器科、産婦人科からの依頼も受けている。

本講演では、私が秋田大学医学部に赴任してから20年間に歯科技工室とともにやってきた診療について紹介する。

菅野 雅人 先生【歯科技工士・株miyabi代表】

テーマ：『多数歯齲蝕におけるラボサイドアプローチ』

補綴治療を進めていく上で、歯科医師、歯科技工士がコミュニケーションを図り、治療ゴールのイメージを共有することは非常に重要である。そしてイメージを具現化し、補綴治療を成功に導かなければならない。

そこで今回、基礎資料収集、問題点の抽出、診査診断、治療計画の立案、診断用ワックスアップ、治療介入という流れを順序立てし、このステップに沿ってケースを進めた。

初期診断の段階で、咬合低下、CRバイトとICPに違いが見られ、早期接触が認められた。診査診断から本症例はバイトアップが必要なため、咬合再構成ケースと判断した。この顎位を適正な位置にするために、ステップごとにCRとICPのずれの確認を行った。

今回はその過程を供覧したいと思う。

